

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		スーパー（販売 企画）	販売量の動き	・客数は前年並みとなり、売上点数が増えているので景気は良くなっている。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・来客数前年比が増加して、売上が増加してきている。
		その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・公務員のボーナスで、売上が上がってくる時期である。例年より平日の地元客の入客が多くなっている。ただし、団体客より、2～3名の少人数のグループが目立っている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・今年の梅雨は例年以上に雨量が多く、また長引いている。そのせいで来客数が減少しているとみられる。
		住宅販売会社 （代表取締役）	お客様の様子	・デイサービスやレンタカー会社の事務所など住宅以外の建築相談が増えている。
		住宅販売会社 （営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比11%減、前年同月比37%減と減少している。
		観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・今月の客室稼働率の前年同月実績に対してのマイナス幅は、3か月前と比べて若干大きくなってきている。
		観光型ホテル （代表取締役）	来客数の動き	・宿泊者数、飲食利用者数共に減少傾向にある。
		旅行代理店（マ ネージャー）	販売量の動き	・ゴールデンウィークが長かったせいか、個人旅行がガタ落ちしている。
		x	商店街（代表 者）	競争相手の様子
	x	百貨店（店舗企 画）	販売量の動き	・衣料品の厳しい状況は続いている。また、これまでけん引してきた化粧品が伸び悩んでいる。特にインバウンドに人気があるブランドの免税売上がダウンしている影響が大きい。
	x	通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・6月からの料金プラン改正に伴い端末の割引サービスが廃止となり、実質値上げとなっているので販売量が3～4割ダウンしている。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		食料品製造業 （総務）	受注量や販売量 の動き	・大型商業施設のオープンや、ゴールデンウィーク10連休後の消費一服感も元に戻り、徐々に消費が活性化してきている。
		輸送業（経営企 画室）	受注価格や販売 価格の動き	・全体的に売上の前年比が上昇傾向にある。
		窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・公共工事向けは前年比減、民間工事向けはホテル等建築好調により前年比増で、全体で横ばいである。現場工事は相変わらず人手不足で工期遅れが生じている。
		会計事務所（所 長）	取引先の様子	・観光入客数は多いが、これまでのような伸び、勢いはないようにみえる。
		x	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		*	*	*
		人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・今年の2～3月頃から派遣依頼が増加し、現在も同様に依頼数の多い状況である。今まで付き合いのなかったところからの新規依頼も複数ある。
		学校〔専門学 校〕（就職担 当）	求職者数の動き	・就職活動は第1波で活動していた学生が続々と内定を獲得している。夏休み前に第2波を期待したいところである。
		人材派遣会社 （総務担当）	求職者数の動き	・求職者が減少している。
		x	求人情報誌製作 会社（編集室）	求人数の動き